

公益財団法人全日本仏教会 (東京都港区)



全日本仏教会

「花まつり」に向けたポスター制作

公益財団法人全日本仏教会（全日仏、本部東京都港区、会長大谷暢裕氏）は、昨年、公募していた「第6回花まつりデザイン大賞」を発表。応募作品のなかから今年の新しいポスター・絵ハガキデザインとして、ポスター大賞2作品（ポスター大賞、ポスター大賞〔満12歳以下〕）、絵はがき大賞2作品を選定した。

これに伴い、全日仏ではポスター大賞2作品（一般、満12歳以下）を使用したポスターと絵ハガキ、ならびに浄土宗和光寺の釈迦誕生図ポスターを作成し、本年1月から申込受付、2月より頒布および配布を開始する。

「花まつり」とは、毎年4月8日にお釈迦様の生誕を祝する仏教行事。約2500年前の4月8日にルンビニー園でお釈迦様が誕生した際、周囲の花々は咲き乱れ、産湯代わりの甘露の雨が降り注ぎ、世界中が輝き喜びであふれたと伝えられているという古事から、「花まつり」「仏生会」「灌仏会」などさまざまな愛称で親しまれている。

全日仏では、全国の寺院や地域のイベントの告知にとどまらず、一般の方に日頃の挨拶や感謝を伝えるため使用し



てもらうツールとして事業者に掲示等をされたいとしている。なお、それぞれの概要については、①ポスター（A2判サイズ／代金各種50円／1枚／別途、送料）、②絵ハガキ（サイズA4判シート・デザイン作品3枚1組／代金無料／別途、送料）。

TEL●03-3437-9275

(株)マイクロウェーブ (東京都渋谷区)



「@葬儀」に「供花・祭壇卸しサービス」

「相続相談サービス」の新機能を付加

(株)マイクロウェーブは、オンライン葬儀サービス「@葬儀」の新機能として「供花・祭壇卸しサービス」と「相続相談サービス」の提供を開始した。

@葬儀は、2020年7月にサービス提供をスタートさせて以降、葬祭事業者はもちろん喪家や会葬者の間でもクチコミで評判が広がり、現在は全国180社超の葬祭事業者が導入、年間約1万0,500件の葬儀で利用されている。

同社では喪主、参列者がよりよいお見送りを実現できるような支援と葬祭事業者の経営をサポートするため、これまで提供していた「オンライン葬儀機能」に加えて、新たに「供花・祭壇卸しサービス」と「相続相談サービス」機能をリリースした。

前者は、同社が業務提携している生花祭壇設営大手の(株)ビューティ花壇と連携し、供花や祭壇を安価に提供する。現在取り引きしている生花業者と合わせて補完的に利用いただくことで、喪主や参列者からのさまざまな要望に応じた供花を安定して仕入れ・提供することが可能になり、葬祭事業者にとっては、供花をより安価に仕入れることに



よって利益率の向上が期待できる。

後者は、喪主からの相続相談を同社のサービスとして案内できるもの。相続は、専門家の種類も多く、手続きごとに異なる担当者に相談が必要になるなど、相談者の負担が大きくなるケースも少なくない。@葬儀の相続相談サービスでは、専任担当者がワンストップで対応するので、相談者の負担を軽減させることができる。葬祭事業者にとっては、相続相談サービスを葬儀のアフターフォローサービスの一環として喪主に提供することで、事業領域が広がるとともに顧客満足度や企業価値の向上にもつながるとしている。

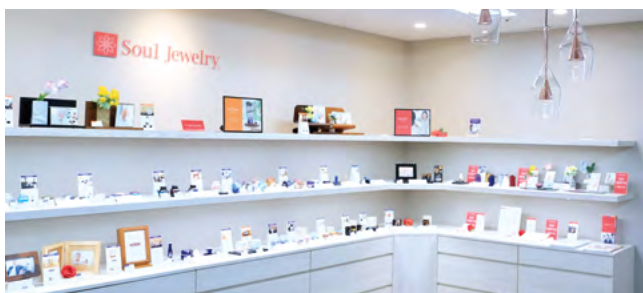
TEL●03-5468-9205

(株)メモリアルアートの大野屋 (東京都立川市)手元供養「ソウルジュエリー」
「大阪ショールーム」をリニューアルオープン

仏事関連総合サービスの(株)メモリアルアートの大野屋(本社東京都立川市、社長奥田実氏)は、いつでも身近で故人を偲ぶことができるよう、遺骨や遺灰・思い出の品の一部を収納し供養できる“手元供養商品”「ソウルジュエリーシリーズ」を販売している。

同社では東京と大阪において、取引先専用のショールームを展開しているが、昨年11月に「ソウルジュエリー大阪ショールーム」(大阪市北区梅田)をリニューアルオープンした。

今回の「大阪ショールーム」のリニューアルは、販売が



年々伸长している「Soulシリーズ」の西日本エリアにおける取引先への販売バックアップ体制の強化を目的とし、単なる商品展示だけではなく、ショールームスペースやITデバイスを活用したさまざまな販売サポートプログラムを提供する。

また、ショールームではSoulシリーズ商品のフルラインシリーズを展示するほか、商品の展示方法や販売促進ツールの提案、オンラインセミナーの拠点として、また遺骨封入体験もできるようになっている。

TEL●042-847-4111 FAX●042-847-4133

(株)八木研 (大阪市東成区)新商品内覧会を開催し
巻き扉仏壇などを発表

リビングなどの家族が集まる場所でお祀りできる現代仏壇の企画開発を行なう(株)八木研は、2023年1月24～26日の3日間、ギャラリーメモリア東京日本橋店で新商品内覧会を開催し、新たに仏壇9種類をはじめ、掛軸13種類、五具足や盆提灯などを発表するとともに既存商品も展示した。

新商品「セグレート」は、1,128個の無垢パーツで構成された巻き戸を採用した新発想の仏壇で、職人の高い技術により滑らかにカーブを描きながらの開閉ができる。また、仏壇は扉を開いたときの見え方が重要と考え、内部が美しく際立つように細部まで工夫を凝らしている。

「ガラ ダーク/ライト」は、仏壇奥の背面全体に吉祥組子文様の照明を設けた天然木の仏壇で、文様は麻の葉と青海波の2種類をラインナップしている。

そのほか、洗練されたフォルムとスタイリッシュなデザインでステンレスの素材感を表わした「プログレ」や、斜めから見ると現われる立体的な市松模様が特徴的な壁掛け仏壇「ダミエ」などをお披露目した。



セグレート



ガラライト

同社では現代仏壇カタログ「FREELY」を毎年発行しているが、2023年版では掲載するすべての仏壇にARを実装し、スマホやタブレットのカメラで実際の部屋に仏壇を配置して見ることができ、デザインやサイズ感がイメージしやすくなる機能を有している。

TEL●06-6972-1207 FAX●06-6972-1301

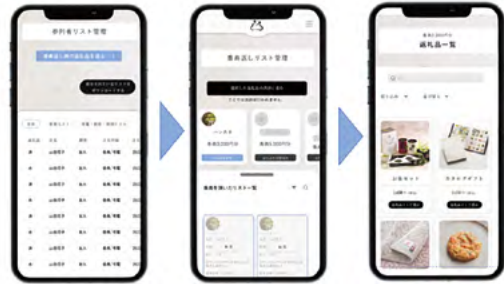
(株)Swell (名古屋市市中村区)

無料デジタルプラットフォーム「itowa」
香典ダイレクト受取り・返礼品注文システムを付加

弔電や香典のやりとりをWeb上で行なえるプラットフォーム「itowa」を展開する(株)Swellは、同サービスに香典ダイレクト受取りと返礼品注文システムの新機能を付加した。

香典ダイレクト受取りは、itowaを使って参列側が香典を送ると、葬祭事業者を経由せずに直接葬家に香典が届く仕組み。葬家の代わりに香典を預かることがなく、葬家とともに現金を扱うリスクがなくなるというメリットがある。

返礼品注文システムは、itowaから香典を受け取ると参列者がリスト化され、そのまま返礼品の注文システムと連携し、受取り金額に応じて発注から発送までをワンストップ



で行なえる。これにより、葬家は香典の現金を扱うことや、香典リストの管理をする手間が省け、プラットフォーム上で返礼品の手配ができる。

TEL●050-8884-4987

(株)SPICE SERVE (東京都港区)

粉骨からはじまる“負担かけない供養”
サポート事業を開始

「シーセレモニー」の屋号で貸切船での海洋散骨を年間350件超手がける(株)SPICE SERVEは、粉骨後に5つの供養方法を提案し遺族の意向を実現する事業「ご遺骨サポートとこしえ」を開始し、遺骨ケア用のお仕度室や手元供養品ショールームおよび公式サイトも本オープンした。

新事業は、遺骨を希望に合わせてケアすることで身近な存在に変え、家族が故人を永遠に心で想えるサポートをしたいという思いのもと、粉骨と手元供養を入口にして解決策を提案するもの。同社は自社に粉骨作業所を設け、各工程ごとに故人の名前を記載したネームタグと一緒に写真に



収め、粉骨の様子を確認できる粉骨証明書を発行する。また、無償で粉骨の立ち会いもできる。

粉骨後に提案する供養の形は、海洋散骨をはじめ、手元供養、里山散骨、樹木葬、永代供養墓・納骨堂の5つ。同社は初年度に150件の粉骨受注件数を目標としている。

TEL●03-6809-6447 FAX●03-6435-4569


「葬儀のロコミ」 (株式会社ディライト)
掲載料無料の葬儀社紹介サイト「葬儀のロコミ」

「葬儀のロコミ」3つの特徴

- ① **完全成果報酬型**【初期費用・月額費用なし】
- ② **自社プランで施行できる**【プランの指定なし】
- ③ **喪主と直接話せる**【オペレーターなし】

現在約500社の葬儀社様に賛同していただいています。

葬儀をインターネットで探ることが主流になった今ネット集客を「無料」で始めてみませんか？



詳しい資料はこちらのQRコードからお問合せください